

●キンボールリードアップゲーム

1【TAG BALL】<タッグ・ボール: 鬼ごっこ>

<人数> 1チーム2人、2チーム以上

<場所> 体育館・障害物のないオープンスペースを使用。

<用具> キンボール

<目標> 鬼がボールを転がして他の組の2人にボールを触れさせて鬼とすること。

<ルール> 人数に応じてコートを設定し、ラインを引きます。

鬼以外のチームは必ず2人が手をつないでいなければいけません。

手を離れた場合は、ボールに触れなくてもそのチームが鬼になります。

鬼2人は手をつながなくてもよい。

ラインから出たチームは、反則で鬼になります。

3回ボールに触れたら、ペナルティーが課せられます。(Pはジョギングなど)

ボールは常に床についていなければいけません。鬼はボールを転がさなければいけません。

<注意> プレーヤーが小学校低学年であれば、先生は鬼を助けて他のチームがボールに触れるよう仕向けてもかまいません。すでに知っているいろいろな鬼ごっこで応用することもできます。

2【CORRIDOR】<コリーダ: 廊下を作ってボールを転がす>

<人数> 20人以上

<場所> 体育館・障害物のないオープンスペースを使用。

<用具> キンボール

<目標> ボールの直径分離れて、お互いに向き合って並ぶ。このゲームは、ボールを巧みに扱うことを目的にしたものでプレーヤーは、廊下の端から端までいろいろな方法でボールを運ぶ。

<ルール>

1 立って向き合ったり、背中向きや横向きに立ち、ボールを床につけたりボールを上を上げてたりして並んでいるプレーヤーの端から端までボールを運びます。

2 座って向き合ったり、背中向きや横向きに座って、ボールを床につけたりボールを上を上げてたりして、並んでいるプレーヤーの端から端までボールを運びます。

3 寝転んで仰向けやうつ伏せに寝て、足や手で、ボールを床につけたりボールを上を上げてたりして、並んでいるプレーヤーの端から端までボールを運びます。

<注意> 座ったり、寝転んだりした姿勢でのプレーの時は、ボールが廊下から出たときボールをキャッチするために廊下の両端にプレーヤーを置きます。

3【TAG CIRCLE】<ダッグサークル: 円の中で鬼ごっこ>

<人数> 20人以上

<場所> 体育館・障害物のないオープンスペースを使用。

<用具> キンボール

<目標> 1人～3人が円の中に入る。円を作っているプレーヤーは中に入っているプレーヤーにボールを当てる。

<ルール>

- 1 円を作っているプレイヤーはボールを打撃してもよいし、押してもよい。
- 2 円を作っているプレイヤーは協力してボールをパスすることができます。

<注意> ボールを打撃する場合は、必ず両手で行うように指導します。片手での打撃は怪我につながります。

4【PLANET CHASE】<プラネットチェイス:2重円の中での鬼ごっこ>

<人数> 20人以上

<場所> 体育館・障害物のないオープンスペースを使用。

<用具> キンボール

<目標> プレイヤーは2重円をつくる。2つの円のプレイヤーはお互いに向き合いボールの直径分だけ離れる。プレイヤーは2つの円の間の道でボールを転がし、プレーする。

<ルール>

1 時間で

- ボールを転がし、1分間にボールを何周させることができるか。
- 各方向の回数を比較します。
- ボールが2個あれば2組の2重円をつくり、2チームで競うことができます。

2 逃げる

- 2重円の中の道にプレイヤーが2人入る。
- 他プレイヤーが転がすボールから逃げ、ボールに触れるまでの時間を競う。
- 2人のプレイヤーのうちどちらかがボールに触れたら他のプレイヤー2人と交代します。
- 2人のプレイヤーがボールに触れるようにボールを進める方向を変えてもかまいません。

3 捕まえる

- 円の中に2人のプレイヤーが入る。この2人がボールに触れようとします。
- ボールは常に床についていなければいけません。
- 2人のプレイヤーがボールに触れないようにボールを進める方向を変えてもかまいません。
- 2人のプレイヤーは手をつなぎ同じ方向に進むこと。
- 2人がボールに触ったら別の2人と交代します。同じプレイヤーが長く続く場合、指導者が交代を命じます。
- 円の中にいるプレイヤーは、ゲーム開始時、ボールの反対側にいなければいけません。

<注意>

- 2重円をつくるプレイヤーは、足をしっかり地につけて動かないように指示することが重要です。